

1. 木質バイオマス関連情報

■長野県塩尻市、信州Fパワープロジェクトの一環として、市が100%出資する(一社)塩尻市森林公社(長野)を主体に小売電気事業を開始し、10月から公共施設に電力を供給する方針。将来的には同プロジェクトの木質バイオマス発電所からの電力を中心に買い取り、供給先を拡大する【市民タイムス：2018/03/06】

<http://nikou-p.co.jp/cp-bin/wordpress/?p=7450>

■経産省、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の2018年度の新規参入者向け買取価格及び賦課金単価等を決定し、公表。○一般木材等とバイオマス液体燃料を2018年度から別区分化。○一般木材等(10,000kW以上)とバイオマス液体燃料(全規模)は2018年度から入札制に移行。2018年度は1回(下期)実施。○一般木材等(10,000kW未満)は、2018年度の買取価格(24円+税)を決定。バイオマスのその他の区分(メタン発酵ガス化発電や間伐材等由来の木質バイオマス等)については、昨年度に2019年度分まで決定している価格通りとし、今年度は2020年度の買取価格を決定する予定【経済産業省：2018/03/23】

<http://www.meti.go.jp/press/2017/03/20180323006/20180323006.html>

■資源エネルギー庁、2月16日～3月17日まで実施した「事業計画策定ガイドライン(バイオマス発電)改正案」に関する意見募集の結果を公表。提出された意見の数は27件。その意見概要と回答をウェブサイトで公開中【資源エネルギー庁：2018/04/02】

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620218006&Mode=2>

■征矢野建材(株)(長野)、長野県塩尻市における木質バイオマス発電所の事業化決定。九電みらいエナジー(株)(福岡)、(株)九電工(福岡)、および北野建設(株)(長野)らが出資し、長野県内最大規模となる出力14,500kWの発電所の建設と運営を行う。長野県と塩尻市、征矢野建材が2012年より連携

を進めてきた「信州F・POWERプロジェクト」の一環。プロジェクトでは2015年4月に征矢野建材の木材加工施設が稼働し発電所も同時期のスタートを目指していたが、出資企業間の調整に時間がかかり、事業費の増加などもあって着手が大幅に遅れていた。14万t/年の間伐材や製材の端材等を燃料にして、一般家庭で約2万6千世帯分に当たる9500万kW時を中部電力に売電する。年間の売上高は30億円弱になる見通し。木材加工施設と合わせて整備される発電所としては国内でも最大級となる。総事業費は100億円弱。2018年11月着工、2020年10月運転開始予定【征矢野建材(株)：2018/04/12、毎日新聞：2018/04/13】

<http://www.soyano.com/infomation/689.html>

<https://mainichi.jp/articles/20180413/dtl/k20/020/205000c>

■ゴールドマン・サックス証券(株)(東京)、早ければ年内にもバイオマス燃料や地熱を活用する発電事業者向けにプロジェクト債を組成する見通し。プロジェクト債は事業費を銀行などから借り入れるのとは異なり、事業のキャッシュフローなどを裏付けに債券を組成して資金を投資家から直接調達する手法。同証券は現在、バイオマスと地熱の複数案件で発電事業者と協議を進めており、このうちバイオマスの方が早く組成できそうとの見解を示した【Bloomberg：2018/04/12】

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2018-04-12/P6L6F86TTDSC01>

■エンビプロ・ホールディングスグループの(株)エコネコル(静岡)、PKS販売量について2020年をめどに30万t/年に引き上げへ。エンビプロ・ホールディングスが出資し、マレーシア、インドネシアでPKSの集荷を受け持っているマインバイオマス(シンガポール)は、来月中にも2拠点目となる集荷工場をインドネシアに建設。日本で2020年以降の本格稼働を目指すバイオマス発電所の建設計画がめじろ押しなことから、いち早く集荷、供給能力を高める考え【WEB産業新聞：2018/04/13】

<http://www.japanmetal.com/news-t2018041380702.html>

■バイオマス発電、黄信号。政府が保証する電力買い取り価格が魅力で、企業によるバイオマス発電所の建設計画は目標の2倍以上に。しかし燃料の調達難で大半が稼働できないとの見方が浮上。海外から輸入しているパーム油の使用は生産国での乱開発助長を招きかねず、燃料の種類によっては逆に環境負荷を高めかねない懸念も【日本経済新聞：2018/04/17】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ029458790W8A410C1E A1000/?ct=ga>

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会、「国内で販売されている小規模木質バイオマスボイラー機器の一覧」を同協会ウェブサイトにて公開。木質バイオマスボイラーを販売している国産メーカーおよび海外メーカーの代理店に、同協会からアンケートを依頼。機器の情報や実績などを一覧表として取りまとめた。「1. 木質チップボイラーの一覧」、「2. 木質ペレットボイラーの一覧」、「3. 薪ボイラーの一覧」の3種類に分かれており、ダウンロード可【（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会：2018/04/18】

<https://www.jwba.or.jp/2018/04/18/%E5%9B%BD%E5%86%85%E3%81%A7%E8%B2%A9%E5%A3%B2%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E5%B0%8F%E8%A6%8F%E6%A8%A1%E6%9C%A8%E8%B3%AA%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%83%9C%E3%82%A4%E3%83%A9%E3%83%BC%E6%A9%9F%E5%99%A8%E3%81%AE%E4%B8%80%E8%A6%A7%E3%82%92%E6%8E%B2%E8%BC%89%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F/>

■（株）大林組（東京）、再生可能エネルギー事業一段と強化へ。進行中の「中期経営計画 2017（17～21年度）」では建築、土木、開発、新領域を事業の4本柱に掲げる。新領域事業への成長投資として、5年間で1,000億円規模の投資を計画。再生可能エネルギー事業の拡充などに当てる。バイオマスでは、山梨県大月市のバイオマス発電施設が今年8月に売電を開始する予定で、バイオマス発電事業の第2弾も検討中【日刊建設工業新聞：2018/04/19】

<http://www.decn.co.jp/?p=99069>

■田島山業（株）（大分）、放置されている林地残材を現地でそのままチップ化する大型チップパー車を開発。同社は民有林では最大級の1,200haを所有し、造林から素材生産までを手がける。

先端部や枝葉など市場価値が低くて放置される林地残材を有効活用できないかと考え、木質バイオマス発電などの燃料にすることを計画。NEDOの「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業」として本格実施することになった。富士車輜（株）（滋賀）と提携し、ごみ収集車の構造を応用して開発。直径16cm以下のスギなどの残材を投入すると切削刃で破砕し、燃料に適した5cm以下のチップにする。圧縮した積載容量は4t。年間処理目標は1,000t。今年度から2年間、作業効率やコスト削減などの実証事業を実施。チップパー車は田島山業が販売する予定【毎日新聞：2018/04/19】

<https://mainichi.jp/articles/20180419/dtl/k44/020/265000c>

■（株）クリハラント（大阪）、茨城県久慈郡大子町に建設したバイオマス発電所「だいがバイオマス発電所」の開所式を実施（4月18日）。同社初のバイオマス発電所で、出力は1,990kW、年間発電量は1,346万kWh（3,730世帯分）。燃料は間伐材等由来の木質チップで、（一社）だいが再生可能エネルギー協議会より調達する。事業期間は2018年3月～2038年3月までの20年間【（株）クリハラント：2018/04/20】

<http://www.kurihalant.co.jp/news/20180420.html>

■太平電業（株）（東京）、広島県広島市の西風新都奥畑地区産業団地内に建設する「西風新都バイオマス発電所」の地鎮祭を実施（4月18日）。同発電所の定格出力は7,100kW、年間送電力量は約4万9,000MWhを予定。使用燃料は未利用木質バイオマス、一般木質バイオマス、建設廃材。総投資額は約49億円の見込み。発電所の事業開始時期は、2019年11月頃の予定【建設通信新聞：2018/04/20、太平電業（株）：2017/11/10】

<https://www.kensetsunews.com/archives/182302>

<https://www.taihei-dengyo.co.jp/news/201803-2-hatsuden.pdf>

■（株）日比谷アメニス（東京）、（株）ケツト科学研究所（東京）が開発した、木質チップの水分測定器（MT-200）の取扱いを2018年5月1日より開始すると発表。MT-200は木質チップに差し込むだけで即座に水分測定を行うことができ、チップ形状によりモードを変更することでより絶乾法に近い値を表示することができる。またチップ形状が通常設定に当てはまらない場合には検量線を作成し、本体に登録することで現場のチップ形状に合わせた水分測定が可能になるとのこと【Value Press!：2018/04/23、（株）ケツト科学研究所】

<https://www.value-press.com/pressrelease/200556>

http://www.kett.co.jp/products/c_2/312.html

■岐阜、愛知、富山、長野の国有林事業を管轄する中部森林管理局が4月23日、本年度事業の概要を発表。岐阜県内ではD材をバイオマス発電燃料へ再利用する取り組みを促進する。伐採後も山林がきれいな状態で保てるため、次の植林で効率化が見込めるといふ。加茂郡七宗町の国有林で始める予定で、伐採計画の段階からD材活用を織り込むのは初めて【岐阜新聞：2018/04/24】

<https://www.gifu-np.co.jp/news/20180424/20180424-32250.html>

■(株)関電工(東京)と(株)トーセン(栃木)が設立した特別目的会社(SPC)の前橋バイオマス発電会社が群馬県前橋市に建設を進めてきた「前橋バイオマス発電所」が完成。3月4日から営業運転を開始しており、4月24日に完成披露式を開催。同発電所の最大出力は6,750kW。年間発電量は一般家庭約8,700世帯分に相当する約4,300万kWhを見込む。FITを活用し、発電した電力を20年にわたり東京電力に売電。燃料は全て県産材で約8万t/年使用。隣接するSPCの燃料会社で適度に破碎、水分調整した木質チップを随時供給し、24時間フル稼働する。木材供給には群馬県森林組合連合会と群馬県素材生産流通協同組合が協力する。発電所の運転管理は関電工グループの(株)エナジーO&M(東京)が担う。発電所は地元の林業振興や雇用創出に加え、徹底した環境対策を施していることが最大の特長。大気汚染や水質保全対策はもとより、燃料チップや排ガス、燃焼灰、排水、周辺空間について、原子力発電所で使われているものとほぼ同じレベルの装置を使って放射能を測定し適正に運転、管理する。周辺住民に配慮した騒音、強風対策も徹底している【建設通信新聞、(株)関電工：2018/04/25】

<https://www.kensetsunews.com/archives/183878>

<https://www.kandenko.co.jp/news/2422>

■(株)新都心エージェンシー(東京)が、バイオマス発電事業の新たなリスクへの補償検討を開始。同社は損保代理業務やリスクコンサルティング・サービスを手掛ける三井住友海上の保険代理店で、これまで法人向けに自然災害等のリスクから小形風力発電設備を守る「小形風力発電総合保障プラン」を手掛けてきている。数々の再エネ展示会に保険業界として唯一出展。来場する関連事業者の生の声をすくって、バイオマス発電ならではの補償プランの最適化や肉付けを図ってきたことが、新た

なりリスクに対応する保証を検討するきっかけとなった【OSR No.321：2018/04/25、(株)新都心エージェンシー】

<https://www.shintoshin-ag.co.jp/index.html>

■木質バイオマス発電が争点の一つだった徳島県東みよし町長選結果、4月8日に投開票。元町議の松浦敬治氏(53歳、無所属新人)が当選。バイオマス発電を核とした経済活性化を公約として掲げた長谷川隆法氏らは落選。ただし同町によると町長選の結果は、現在同町を舞台に進んでいる日本アジアグループの再エネ資源活用プロジェクト(出力2,000kWのバイオマス発電)には影響しない見通しとのこと【OSR No.321：2018/04/25】

■木材チップ需要増で愛知県碧南市沖の衣浦港外港地区を燃料輸入拠点に。衣浦港一帯で再生可能エネルギー発電所の新設などにより木材チップの需要が増しており、「エネルギー輸入拠点」として物流の増加に対応できる港に再整備するのが目的。事業地区は、碧南市南端の沖合に造成中の人工島「衣浦ポートアイランド」(47ha)と、東側の対岸エリア。人工島では、発電用の木材チップや石炭などの燃料等を荷揚げし、保管する施設を新たに整備。大型船の寄港に対応できるふ頭の造成に向けた調査も進める。本年度は国と県が2,000万円をかけて地区内の調査を進め、施設や道路の整備の進め方を検討する【中日新聞：2018/04/25】

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20180425/CK2018042502000057.html>

■昭和化学工業(株)(東京)の岡山工場、バイオマス熱風炉の新設を岩谷産業(大阪市中央区)の設計・施工で4月下旬に着工。起工式を4月24日に実施。完成予定は10月下旬【山陽新聞：2018/04/25、建通新聞：2018/04/26】

<http://www.sanyonews.jp/article/705340/1/&ct=ga>

http://www.kentsu.co.jp/webnews/html_top/180426600009.html

■環境省、「第5次環境基本計画」を閣議決定したと発表(4月17日)。環境基本計画は環境基本法に基づき環境保全に関する長期的な施策を定めるもので、中央環境審議会の答申を受け、約6年ごとに見直している。今回はSDGs、パリ協定採択後に初めて策定される計画となった。再エネに関しては温暖化対策の柱としつつ、「エネルギー自給率の向上」「地域経済の活性

化」の効用を重視。その具体策として、「営農型太陽光（ソーラーシェアリング）」「地域新電力」「地域の未利用バイオマス資源」「廃棄物系バイオマス」の活用・推進などを盛り込んだ

【メガソーラービジネス：2018/04/26、環境省：2018/04/17】

<http://tech.nikkeibp.co.jp/dm/atcl/news/16/042611049/?ST=msb>

<https://www.env.go.jp/press/105414.html>

■愛知県、知多市、豊田市および中部電力（株）（愛知）、東邦ガス（株）（同）、トヨタ自動車（株）（同）、（株）豊田自動織機（同）は4月25日、2030年ビジョンの実現に向けた最初の取り組みである「知多市・豊田市再エネ利用低炭素水素プロジェクト」を同日より開始することを発表。同プロジェクトは県内で再エネ由来の水素を製造、供給、利用する地産地消の低炭素水素サプライチェーンを構築するもの。東邦ガスが知多市南部浄化センターで下水汚泥処理により発生したバイオガスを原料として都市ガスを製造し、既存の都市ガス導管網を通じてトヨタの元町工場へ輸送。この都市ガスを原料に、トヨタの元町工場に設置したガス改質装置で低炭素水素を製造、圧縮、貯蔵し、工場内で使用する豊田自動織機製の燃料電池フォークリフトで利用していく。愛知県は再エネ資源を活用して製造した水素を低炭素水素として認証する「低炭素水素認証制度」を制定し、同プロジェクトを第1号として認定した【ひと・まち・モビリティ LIGARE：2018/04/26】

https://ligare.news/story/aichi_supply_chain/

■資源エネルギー庁、「調達価格が変更される事業計画の変更認定整理表」を更新。ウェブサイトで公表中【資源エネルギー庁：2018/04/27】

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/

■燦キャピタルマネージメント（株）（大阪）、タイにおけるバイオマス燃料製造事業計画見直しへ。事業パートナーだった日本のエネルギー商社が事業から撤退したため、事業用地の活用のほか、用地売却も選択肢に入れて現地企業と協議する。計画の変更等の確定事項については決定し次第開示するとのこと【燦キャピタルマネージメント（株）：2018/04/27、NNA ASIA：2018/04/30】

<http://sun-capitalmanagement.co.jp/2018/04/27/20180427/>

<https://www.nna.jp/news/show/1756811>

■栃木県那珂川町の町地域資源活用協同組合が、交流型直売施設「あかねてらす」をオープン（4月29日）。見晴らしの良いロケーションに、県産ヒノキの間伐材を使った約630㎡のウッドデッキのテラスを整備。テーブルやカウンター席は約80席。組合は町内の木材業者や鮮魚小売業者、農家などでつくり、組合員がバイオマスボイラの余熱を使ったマンゴー栽培やウナギ養殖など、地域資源を活用したさまざまな事業に取り組んでいる。施設の運営はマンゴーを栽培している組合員が主に担当し、マンゴーを使ったチーズケーキや生クリーム大福をはじめ、町産の果物、農産物、飲み物などを販売する。総事業費は約1千万円で、このうち約750万円はとちぎの元気な森づくり県民税事業の助成【下野新聞：2018/04/30】

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/top/news/20180430/3040036>

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会（東京）、「木質バイオマスエネルギー データブック 2018」を作成。各省庁が開示している統計情報や同協会が収集している木質バイオマス利用に関する情報等を取りまとめたもの。日本語版と英語版の両方を同協会ウェブサイトで公開中【（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会：2018/4月】

<https://www.jwba.or.jp/%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B9/%E4%B8%80%E8%88%AC%E5%85%AC%E9%96%8B%E7%94%A8%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF-%E7%9B%AE%E6%AC%A1/%E6%9C%A8%E8%B3%AA%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%A8%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%82%AE%E3%83%BC-%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF2018/>

■岡山県西粟倉村で地域内森林資源を使ったウナギの養殖に取り組んでいるエーゼロ（株）が、北海道厚真町に根づいた事業の展開を目的とした100%子会社となる新会社、「（株）エーゼロ厚真」を設立したと発表。代表取締役はエーゼロと同じ牧大介氏。関係人口創出事業、地域商社事業等を行うとのこと。2018年5月1日設立【エーゼロ（株）：2018/05/01】

<https://www.a-zero.co.jp/newsrelease/>

■建築用材に使えず山に放置されてきた未利用の木材を燃料として活用するために長野県木曽町が建設していた木質バイ

オマス燃料供給拠点施設が完成。5月1日に現地で「竣工・事業開始式」を実施。未利用材を集積してチップや薪に加工し、燃料として供給する【市民タイムス：2018/05/02】

<http://www.shimintimes.co.jp/news/2018/05/post-137.php>

■北海道、樹木伐採後の木片や枝葉を木質バイオマス発電の燃料として低コストで活用するための実証実験実施へ。木片などを効率的に回収・輸送する手法を探り、伐採業者や輸送業者などにノウハウを提供する。有効活用するとともに調達コストを引き下げること、環境負荷を低減できる木質バイオマス発電の普及につなげる【日本経済新聞：2018/05/08】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ030166900X00C18A5L41000/?ct=ga>

■日本製紙（株）（東京）、同社北海道工場勇払事業所（北海道苫小牧市）の構内で、2021年度をめどに売電専用のバイオマス発電設備の新設を計画。国内外から集荷した木質チップ、東南アジアからPKS、道産未利用材を原料に発電する。出力は7万4,900kWで、木質チップなどバイオマス燃料のみの発電所としては国内最大級。年間発電量は6億kWh程度。出力規模としてはJXTGエネルギーなどが出資する企業が室蘭市内で建設を進めるバイオマス発電所と同水準で、一般家庭で約7万5,000世帯～10数万世帯の使用量に相当。電力は全てFITを利用し売電する。同社が道内で同事業を手掛けるのは初めてで、総事業費は200億円を超える見通し。日本製紙は今後他社との連携や設備仕様など詳細を協議し、環境アセスメントを行う方針。「事業化が決まった段階できちんと発表したい」とのこと。建設には2年程かかる見込み【苫小牧民報：2018/05/09】

<https://www.tomamin.co.jp/news/main/13766/>

■経産省近畿経済産業局、「平成29年度近畿地域の次世代型バ

イオマス利活用技術に関する大学等知財活用調査普及啓発事業」の報告書を公表。近畿経済産業局の環境・リサイクル課が企業や自治体の助けになるよう、平成28年度からバイオマス利活用技術に関する特許について調査を実施してきた。平成29年度はバイオマス資源を都市系と農林水産系に分け、それぞれの出願傾向を特許マップに整理し分析。また事業化しつつあるバイオマスに関する知的財産等を近畿地域を中心に10件選定し、PRシートを作成。木質バイオマスを使っている事業として、三重県多気町の工業団地「多気クリスタルタウン・工業ゾーン」内にある木質バイオマス発電所「多気バイオパワー」でトリジェネレーションを行っている（株）中部プラントサービス（本社・愛知）が紹介されている【経産省近畿経済産業局：2018/05/14】

http://www.kansai.meti.go.jp/3-6kankyo/H30fy/bio-mass_report29.html

■国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所（茨木）、「未利用木質バイオマスを用いた熱電併給事業の成立条件」について書かれた論文を公表。熱電併給（CHP）事業が小中規模でも経済性を高められる可能性があることを明らかにするため、CHP評価ツールを開発。これを用いて4つの発電規模（1,200、1,600、1,999、5,700kW）を対象に、1)発電のみ、2)蒸気利用のCHP、3)温水利用のCHPの3種類の事業について内部収益率等を推計している。詳細は同研究所の下記サイト参照【国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所：2018/05/17】

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/research/saizensen/2018/20180517-01.html>

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイトレポート」の略

2. ペレット関連情報

■（株）プロスペクト（東京）、極東ロシア最大の林業事業者RFP（Russia forest products）グループとロシアのアムールスク地方における木質ペレット生産事業に関して株主間協定書を締結。2016年12月に東京で開催した「日露ビジネス対話」分科会において、プロスペクトとRFPグループが木質ペレット生産事業への共同投資に関する意向表明書を締結し、協議を進めてきたプロジェクト。今回は両国内に合併会社を設立し、ペ

レット工場建設のための投融資を実行することを決定。工場建設資金等は25億円程度。極東ロシア林業クラスターにおいて年間90,000tの木質ペレットを生産し、2019年から生産されるペレットを100%日本のバイオマス発電用に輸出する計画。プロスペクトは、今回の株主間協定書の締結を皮切りに、2019年秋の木質ペレット工場完成を目指して工場建設に係る資金提供や日本における木質ペレット引き受け先との交渉を更に

進めていくとしている【(株) プロスペクト：2018/04/13、2016/12/16】

<https://www.prospectjapan.co.jp/ir/pdf/180413rfp.pdf>

<https://www.prospectjapan.co.jp/ir/pdf/rfpgp161216.pdf>

■中部電力(株)(愛知)、武豊火力発電所5号機(愛知)の建設工事を開始したと発表。老朽化した石油火力発電所を廃止し、石炭や木質ペレットを燃料に使う発電所を新設する。木質バイオマス燃料の混焼、高効率の排煙処理装置を採用することにより、環境負荷の低減を図る。出力は107万kW。営業運転開始は2022年3月の予定【中部電力(株)、日本経済新聞：2018/04/18】

https://www.chuden.co.jp/corporate/publicity/pub_release/pres/s/3267742_21432.html

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ029537760Y8A410C1L91000/?ct=ga>

■宇部興産(株)(東京)、石炭火力発電所において10%以上の比率(熱量比)で混焼可能な木質バイオマス炭化燃料(トレファイドペレット)を開発。生産能力60,000t/年の実証設備を山口県宇部市に建設することを決定。一般的な木質バイオマスを石炭火力発電所で混焼する場合には、専用のハンドリング設備が不可欠だが、トレファイドペレットは石炭と同等のハンドリング特性を有しており、混焼が容易で専用のハンドリング設備が不要とのこと。トレファイドペレットの商品化に加え、使用に際し顧客側(発電所側)で追加投資を伴わない石炭との混合保管・輸送・粉砕・混焼事業モデルを、宇部興産の沖の山コールセンター及び石炭火力発電所(216MW設備)を用いて実証することが今回の実証設備建設の目的。実証設備で原料として使用する木質バイオマスは、Pinnacle Renewable Energy社(カナダ)から長期・安定的に調達し宇部港に輸入する。輸入形態はペレット。2018年4月着工、2019年10月生産開始予定【宇部興産(株)：2018/04/19、OSR No.321：2018/04/25】

http://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/news/2018/20180419_02.html

■関西電力(株)(大阪)の100%子会社であるバイオパワー苅田合同会社が、福岡県苅田町と新松山臨海工業団地(同町)内における発電所建設に向けた立地協定を締結(4月20日)。発電所名は「かんだ発電所」で、定格出力は約75,000kW、九州電力に約4億8,000万kWh/年(約16万3,000世帯の使用電力

に相当)を売却する計画。燃料は海外から輸入する木質ペレット等のバイオマス燃料。プラントの施工は住友重機械工業(株)(東京)が行う。2021年10月の営業運転開始を目指す【関西電力(株)、日本経済新聞：2018/04/20】

http://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2018/0420_1j.html

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ029660080Q8A420C1LX0000/?ct=ga>

■イーレックス(株)(東京)、東京証券取引所にて、沖縄うるまニューエナジー(株)(本社・東京)が建設予定の中城バイオマス発電所の情報を開示。中城バイオマス発電所は沖縄うるま市に建設予定。定格出力49,000kW、年間発電量は一般家庭約10万世帯分の年間消費電力に相当する約330,000MWh。燃料はPKSと木質ペレットを約20万t/年使用。総事業費約250億円。工事着工予定は2018年下期、営業運転開始は2020年度中の予定【イーレックス(株)：2018/04/24】

<https://www.erec.co.jp/news/information/1178/>

■福島県喜多方市の「ガーデンホテル喜多方」を運営する(株)プロジェクト会津(福島)が、4月27日までに木質ペレットを燃料にしたボイラを導入。5月からは会津電力(株)(同)が太陽光で発電した電力に切り替え、ホテルで使用するエネルギーのほぼ全てを再生可能エネルギーで賄う。エネルギーの地産地消を掲げ、会津電力の社長も務めるプロジェクト会津の社長が「クリーンエネルギーだけで運営できることを示せば」と考え、切り替えた。ペレットボイラはオーストリア製で、50kW製2機。国産ペレットを原料にして発熱し、ホテルの暖房や給湯などに利用する【福島民友みんゆうネット：2018/04/28】

<http://www.minyu-net.com/news/news/FM20180428-265586.php>

■中部電力(株)(愛知)、四日市火力発電所バイオマス発電設備の建設工事を三重県四日市市の四日市火力発電所構内で5月1日に開始したと発表。同社初のバイオマス燃料専焼の発電設備。発電出力は49,000kWで、想定年間発電電力量は約3.8億kWh(一般家庭約12万世帯分に相当)。木質ペレット約15万t、PKS約7万tを燃料として使用。CO₂排出量削減効果は年間約16万tと想定。2020年4月運転開始予定【中部電力(株)：2018/05/01】

https://www.chuden.co.jp/corporate/publicity/pub_release/pres/s/3267864_21432.html

■ナラサキ産業(株)(東京)、北海道バイオマスエネルギー(株)
(北海道下川町)が北海道上川郡下川町にて計画している下川
森林バイオマス熱電併給施設建設プロジェクトに係る発電設
備等を受注したと発表。

北海道バイオマスエネルギーは、北海道電力と三井物産が共同
出資して設立。このプロジェクトでは下川町内に道内未利用材
を原料にした4t/時規模のホワイトペレット製造プラントと発
電出力165kW、熱出力260kWのブルクハルト社(ドイツ)製
熱電併給装置11台を設置する。ナラサキ産業は土木工事を除
いた設備設計や機材調達、建設工事業務を受注。受注金額は非
公表だが、同計画の総事業費は26億円で、その多くを受注し
たとみられる。2019年4月から商業運転開始予定【ナラサキ
産業(株)；2018/05/07、日本経済新聞：2018/05/09】

http://www.narasaki.co.jp/news_release/2018/05/07_140000.html

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO30263540Z00C18A5L41000/?ct=ga>

■国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所(茨木)
木材加工・特性研究領域木材乾燥研究室の吉田貴紘氏が「平成
29年度日本エネルギー学会進歩賞(学術部門)」を受賞。「熱
処理による固体炭化水素燃料の高性能化技術開発」が、木質バ
イオマス、石炭等固体炭化水素燃料の高効率利用に向けて大き
く貢献しているものと認められ、受賞に至った【国立研究開発
法人森林研究・整備機構森林総合研究所：2018/05/07】

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/hyoushou/2018/20180507yoshida.html>

■シン・エナジー(株)(兵庫)、愛媛県内子町で計画を進めて
いた小規模木質バイオマス発電施設「内子バイオマス発電所」
の起工式を実施(5月10日)。昨年5月に同社が発表した事業
内容によると、同プロジェクトはブルクハルト社(ドイツ)製
小型高効率木質バイオマス熱電併給装置6機と、アクセスエナ
ジー社(USA)製バイナリー発電装置1機を採用し、間伐材・
低質材を中心とした未利用木質バイオマス資源を活用した小
規模な木質バイオマス発電事業となる。内子町森林組合や地元
林業事業者らが供給する原木を(有)内藤鋼業(愛媛)がペレ
ットに加工し、発電所に供給。内子町は事業用地を貸与。資金
は地元企業やNECキャピタルソリューション(株)(東京)か
らの出資と、地元金融機関である(株)伊予銀行(愛媛)から
の融資により調達する。年間発電量は約883万kWh、うち送
電量は約811万kWhの見込みで、発電した電力はFITを利用
し四国電力(株)(香川)へ全量売電する予定。事業運営は内
子バイオマス発電合同会社が行う。発電開始は2018年11月
の予定【シン・エナジー(株)：2018/05/08、(有)内藤鋼業：
2018/05/14】

<https://www.symenergy.co.jp/news/release/20180508-2423.html>

<http://naito-kogyo.co.jp/2018/05/14/%e5%86%85%e5%ad%90%e3%83%90%e3%82%a4%e3%82%aa%e3%83%9e%e3%82%b9%e7%99%ba%e9%9b%bb%e6%89%80%e3%80%80%e8%b5%b7%e5%b7%a5%e5%bc%8f/>

※OSR:バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト
レポート」の略

3. イベント情報(国内)

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◆立教大学社会学部公開ワークショップ「日独共同企画-ドイ
ツの気候変動教育能力開発プログラム体験ワークショップ-

月日 2018年5月26日(土)~27日(日)

場所 立教大学池袋キャンパス太刀川記念館1階第1・2会議
室(東京都豊島区)

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/esd/>

◆(一社)日本森林学会公開シンポジウム「林業遺産への期待

と課題」

月日 2018年5月29日(火)

場所 日林協会館3階大会議室(東京都千代田区)

<https://www.forestry.jp/others/others-mtg/20180529.html>

◆JATAN【公開セミナー】足下に熱帯林を踏みつけて~日本の
住宅産業サプライチェーンにおける取り組みをサラワクの熱
帯林に与える影響から評価する~

月日 2018年5月29日(火)

場所 東京ウィメンズプラザ2F 第一会議室(東京都渋谷区)

<http://www.jatan.org/archives/4362>

◆(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会出版記念講演「地域ではじめる木質バイオマス熱利用の実際とポイント」

月日 2018年5月30日(水)

場所 バイオマスエキスポ2018内(東京ビックサイト東3ホール入口横会場)(東京都江東区)

<https://www.jwba.or.jp/>

◎バイオマスエキスポ実行委員会「バイオマスエキスポ2018」

月日 2018年5月30日(水)~6月1日(金)

場所 東京ビックサイト東ホール(東京都江東区)

<https://www.biomasseexpo.info/expo/%E3%83%90%E3%82%A4%E3%82%AA%E3%83%9E%E3%82%B9%E3%82%A8%E3%82%AD%E3%82%B9%E3%83%9D2018/>

◎森林総合研究所一ドイツバイオマス研究センター合同ワークショップ「地域コミュニティにおけるトレファクション燃料等の小規模利用への可能性」

月日 2018年5月31日(木)

場所 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所大会議室(茨城県つくば市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20180531workshop-dbfz/index.html>

◆(一社)全国森林レクリエーション協会フォーラム「森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流について」

月日 2018年5月31日(木)

場所 文京区民センター(東京都文京区)

http://www.shinrinreku.jp/information/29_index_detail.html

◆JATAN【公開セミナー】足下に熱帯林を踏みつけて~日本の住宅産業サプライチェーンにおける取り組みをサラワクの熱帯林に与える影響から評価する~

月日 2018年6月1日(金)

場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター)5階501号室(大阪府大阪市)

<http://www.jatan.org/archives/4362>

◆林野庁「みどりの学術賞 受賞記念講演会」

月日 2018年6月2日(土)

場所 日本科学未来館7階 未来館ホール(東京都江東区)

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/180416.html

◆(一社)文化遺産を未来につなぐ森づくり会議「シンポジウム一聞き取り調査の報告会&ディスカッション」

月日 2018年6月2日(土)

場所 木材会館7F大ホール(東京都江東区)

http://www.bunkaisan.jp/schedule/archives/2018/05/post_8.php

◆FOE Japan シンポジウム「環境と民主主義~環境・人権・暮らしを守るためにたたかう世界の人々」

月日 2018年6月2日(土)

場所 東京都生協連会館(東京都中野区)

<http://www.foejapan.org/event/supt/180602.html>

◆(特非)木の建築フォーラム 第24回 公開フォーラム「災害をのり越える林業と木の建築」

月日 2018年6月3日(日)

場所 東京大学農学部弥生講堂一条ホール(東京都文京区)

http://www.forum.or.jp/menu2_8.html#yokoku17th_24th

◆新潟県「にいがた森のフォーラム2018」

月日 2018年6月3日(日)

場所 ガレッソホール(コープシティ花園4階)(新潟県新潟市)

<http://www.pref.niigata.lg.jp/rinsei/1356893588904.html>

◆NPO法人農都会議 バイオマスWG/農都交流・地域支援G 総会記念フォーラム「最新のバイオマスガス化発電設備の動向~活況を呈しているバイオマスガス化発電設備の活用を考える」

月日 2018年6月4日(月)

場所 港区神明いきいきプラザ4階集会室A(東京都港区)

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/199>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所「革新的技術開発・緊急展開事業」先導プロジェクト「ICT技術やロボット技術を活用した高度木材生産機械の開発」シンポジウム

「先端技術が林業にもたらす恩恵」

月日 2018年6月7日(木)

場所 くまもと県民交流会館パレオホール(熊本県熊本市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20180607sendouprosympo/index.html>

◆岐阜県「ぎふの木フェスタ 2018」

月日 2018年6月9日(土)～10日(日)

場所 岐阜メモリアルセンター「芝生広場」(岐阜県岐阜市)

http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/shinrin/mokuzai-sangyo/11545/gifunoki_boshu.html

◆認定NPO法人 気候ネットワーク「気候ネットワーク設立20周年記念フォーラム「加速する脱炭素革命 ～ビジネス・SDGs・金融・雇用・市民の新しいアクション～」

月日 2018年6月10日(日)

場所 日比谷図書文化館 大ホール(東京都千代田区)

<http://www.kiconet.org/event/2018-06-10/>

◆NEDO「スマートコミュニティサミット 2018」

月日 2018年6月13日(水)

場所 東京国際フォーラム ホールB5(東京都千代田区)

<https://nedo.sc-summit2018.jp/>

◆NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク第175回研究会「2017-2018年のバイオマス利用の動向」

月日 2018年6月16日(土)

場所 地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)

<http://www.npobin.net/apply/>

◆森の映像祭実行委員会「森の映像祭」(みどり・森林・山村振興 映像祭)上映会

月日 2018年6月16日(土)

場所 木材・合板博物館(東京都江東区)

<http://morinoeizo.com/archives/13>

◆「森林と市民を結ぶ全国の集い 2018in 東京」実行委員会「第22回 森林と市民を結ぶ全国の集い 2018in 東京 変わり始めた『山』・『ひと』・『街』～森の価値を分かち合う～」

※17日にはソフィアシンポジウム2018「SDGsの実現に向けて：森の生態系サービスを活かした持続可能な地域づくり」を

連携開催

月日 2018年6月16日(土)～17日(日)

場所 上智大学四谷キャンパス(東京都千代田区)

<https://www.moridukuri.jp/forumnews/2018061617.html>

◆グランド再生可能エネルギー2018 国際会議組織委員会「グランド再生可能エネルギー2018 国際会議」

月日 2018年6月17日(日)～22日(金)

場所 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

<http://www.grand-re2018.org/>

◆再生可能エネルギー協議会「GRAND RENEWABLE ENERGY 2018 INTERNATIONAL EXHIBITION」

第13回再生可能エネルギー世界展示会(グランド再生可能エネルギー2018 国際会議併設展示会)

月日 2018年6月20日(水)～22日(金)

場所 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

<http://www.renewableenergy.jp/2018/>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所「森林講座 森に潜むトリュフの不思議な世界」

月日 2018年6月22日(金)

場所 森林総合研究所多摩森林科学園 森の科学館2階(東京都八王子市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20180622tamalec/index.html>

◆環境三学会合同シンポジウム 2018「SDGs時代の社会デザインを考える：人文社会科学からの新たな挑戦」

月日 2018年6月23日(土)

場所 明治学院大学白金キャンパス3号館3101教室(東京都港区)

http://www.jaes.jp/report_a/seminar_a/2018/4430

◆地方創生バイオマスサミット実行委員会「地方創生バイオマスサミット」

月日 2018年7月5日(木)

場所 イイノホール(東京都千代田区)

<https://w-pellet.org/2018/04/04/7%e6%9c%885%e6%97%a5%ef%bc%88%e6%9c%a8%ef%bc%89%e3%80%8c%e5%9c%b0%e6%96%b9%e5%89%b5%e7%94%9f%e3%83%90%e3%82%a4%e3%82%aa%>

[e3%83%9e%e3%82%b9%e3%82%b5%e3%83%9f%e3%83%83%e3%83%88%e3%80%8d%e9%96%8b%e5%82%ac/](http://www.bm-kansai.jp/ja/Home/)

◆(公社)化学工業会、他「第1回 産業廃棄物リサイクル技術展」

月日 2018年7月18日(水)～20日(金)
場所 東京ビッグサイト 東ホール(東京国際展示場)(東京都江東区)
<https://www.jma.or.jp/set/outline/recycle.html>

◆(一財)省エネルギーセンター「エネルギーイノベーションジャパン2018」

月日 2018年8月28日(火)～29日(水)
場所 マイドームおおさか(大阪府大阪市中央区)
<https://www.low-cf.jp/west/>

◆(株)JTBコミュニケーションデザイン「Smart Energy Japan WEST 2018」

月日 2018年8月28日(火)～29日(水)
場所 マイドームおおさかB～Dホール(大阪府大阪市)
<http://expotoday.com/event/13483/>

◆リードエグジビジョンジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)
場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)
<http://www.wsew.jp/>

◎リードエグジビジョンジャパン(株)「関西スマートエネルギーWeek 2018内 『第3回 関西バイオマス発電展』」

月日 2018年9月26日(水)～28日(金)
場所 インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)
<http://www.bm-kansai.jp/ja/Home/>

◆世界循環経済フォーラム2018

月日 2018年10月22日(月)～23日(火)
場所 パシフィコ横浜国際会議場(神奈川県横浜市)
<http://www.env.go.jp/press/105046.html>

■リードエグジビジョンジャパン(株)「スマートエネルギーWeek 2019」

月日 2019年2月27日(水)～3月1日(金)
場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)
<http://www.reedexpo.co.jp/ja/Expo/207372/Week>

◎リードエグジビジョンジャパン(株)「第4回 国際バイオマス発電展」

月日 2019年2月27日(水)～3月1日(金)
場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)
<http://www.reedexpo.co.jp/ja/Expo/1166848>

◎フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)

・「次世代森林産業展2019 FORESTRISE 2019 Innovative & Integrative Woods Industries」
・「バイオマスエキスポ2019 Nagano」
月日 2019年8月1日(木)～8月3日(土)
場所 ビッグハット/若里ホール(長野県長野市)
<http://www.forestrise.jp/>

4. イベント情報(海外)

◆Oleofuels 2018

月日 2018年6月6日(水)～7日(木)
場所 ヘルシンキ(フィンランド)
<http://www.wplgroup.com/aci/event/oleofuels/>

◎Argus Biomass Asia 2018

月日 2018年6月6日(水)～7日(木)
場所 シンガポール(シンガポール)

<http://www.argusmedia.com/asia-biomass/>

◆Expo Biogaz

月日 2018年6月6日(水)～7日(木)
場所 ストラスブール(フランス)
<https://www.expo-biogaz.com/en/the-exhibition>

◆ASEAN SUSTAINABLE ENERGY WEEK

月日 2018年6月6日(水)～9日(土)

場所 バンコク(タイ)

<http://www.asew-expo.com/Home.aspx>

◆Advanced Biofuels Conference

月日 2018年6月11日(月)～13日(水)

場所 ネブラスカ州オマハ(USA)

<http://www.advancedbiofuelsconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◆2018 International Fuel Ethanol Workshop & Expo

月日 2018年6月11日(月)～13日(水)

場所 ネブラスカ州オマハ(USA)

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

◎3rd Pellet Forum in Poland

月日 2018年6月18日(月)～19日(火)

場所 グダニスク(ポーランド)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/3rd-pellet-forum-poland>

◆オーストリア・シュタイアーマルク州、ピヒル森林研修所「日本人向けバイオマス技術特別講座」

月日 2018年7月2日(月)～6日(金)

場所 ピヒル森林研修所(オーストリア・シュタイアーマルク州)

http://www.advantageaustria.org/jp/oesterreich-in-japan/news/local/20180702_Pichl.ja.html

◆UK AD and World Biogas Expo 2018

月日 2018年7月11日(水)～12日(木)

場所 バーミンガム(UK)

<http://adbioresources.org/biogastradeshow/>

◆POWER-GEN AFRICA

月日 2018年7月17日(火)～19日(木)

場所 ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)

<http://www.powergenafrika.com/index.html>

◆INTERFOREST 2018

月日 2018年7月18日(水)～22日(日)

場所 ミュンヘン(ドイツ)

<https://exhibitors.interforst.com/en/>

◆10th Asia Sustainable Oil Palm Summit

月日 2018年7月30日(月)～31日(火)

場所 バリ(インドネシア)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=180724&>

◆The 7th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE 2018)

月日 2018年8月16日～18日

場所 広州市(中国)

<http://www.apbechina.com/index.php?lang=en>

◆クラゲンフルター・ホルツメッセ木材展示会 2018

月日 2018年8月29日(水)～9月1日(土)

場所 ケルンテン州クラゲンフルト市(オーストリア)

<http://www.forestrise.jp/KLAGENFURT/>

◆Finn METKO 2018

月日 2018年8月30日(木)～9月1日(土)

場所 ヤムサ(フィンランド)

<https://www.finnmetko.fi/pages/in-english/information-for-the-exhibitors.php>

◆オシアツハ森林研修所 日本人森林技術関係者向け特別講座 第2シリーズ

月日 2018年9月3日(月)～7日(金)

場所 オシアツハ森林研修所(オーストリア・ケルンテン州)

http://www.advantageaustria.org/jp/oesterreich-in-japan/news/local/20180214_Forest.ja.html

◆在日ドイツ商工会議所「2018年ドイツバイオエネルギー視察ツアー」

月日 2018年9月3日(月)～8日(土)

場所 シュトゥットガルト、ミュンヘン(ドイツ)

file:///C:/Users/user/AppData/Local/Temp/B2Temp/Attach/2018年ドイツバイオエネルギー視察ツアー(1).pdf

◎Advanced Biofuels Conference

月日 2018年9月18日(火)～20日(木)

場所 ヨーテボリ(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/events/advanced-biofuels-conference/>

◆ASIA POWER WEEK

月日 2018年9月18日(火)～20日(木)

場所 ジャカルタ(インドネシア)

<http://www.asiapowerweek.com/en/index.html>

◆National Biomethane Congress

月日 2018年9月24日(月)

場所 ポズナン(ポーランド)

<http://magazynbiomasa.pl/en/narodowy-kongres-biometanu/>

◆2nd Biomass Trade & BioEnergy Africa

2018年10月2日(火)～3日(水)

場所 ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=181026&>

◎USIPA's EXPORTING PELLETS CONFERENCE

月日 2018年10月8日(月)～10日(水)

場所 イリノイ州シカゴ(USA)

<http://www.usipaconference.com/conference/announcement>

◆The 10th PALMEX Indonesia 2018

月日 2018年10月9日(火)～11日(木)

場所 メダン(インドネシア)

<http://www.palmoilexpo.com/>

◆International Biogas Congress & Expo

月日 2018年10月11日(木)～12日(金)

場所 ベルリン(ドイツ)

http://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index.php

◎International Biomass Congress & Expo

月日 2018年10月11日(木)～12日(金)

場所 ベルリン(ドイツ)

http://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index.php

◆Biofuels International Conference & Expo

月日 2018年10月11日(木)～12日(金)

場所 ベルリン(ドイツ)

http://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index.php

◆IBBK Biogas : Science Meets Practice, international conference with trade exhibition and excursion 'Progress in the treatment and use of manure and digestate

月日 2018年10月16日(火)～17日(水)

場所 シュヴェービッシュ・ハル(ドイツ)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/schedule>

◆International Power Industry, Energy Efficiency, Infrastructure and Environmental Technology Fair

月日 2018年10月19日～21日

場所 リガ、キプサラ地区(ラトビア共和国)

<http://www.bt1.lv/ee/eng/>

◆ECOMONDO

月日 2018年11月6日(火)～9日(金)

場所 リミニ(イタリア)

<https://en.ecomondo.com/>

◆European Biomass to Power

月日 2018年11月7日(水)～8日(木)

場所 スtockホルム(スウェーデン)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

◆HEATEC Shanghai International Exhibition on Heating

月日 2018年11月28日(水)～30日(金)

場所 上海(中国)

<https://www.heatecchina.com/Heatec17/Home/lang-eng/Information.aspx>

◆ALGAEUROPE 2018

月日 2018年12月4日(火)～6日(木)

場所 アムステルダム(オランダ)

<http://algaeurope.org/>

◆3rd Biogas Congress

月日 2018年12月10日(月)～11日(火)

場所 ポズナン(ポーランド)

<http://magazynbiomasa.pl/en/kongres-biogazu/>

◆Fuels of the Future 2019

月日 2019年1月21日(月)～22日(火)

場所 ベルリン(ドイツ)

<https://www.bioenergie.de/>

5. 平成30年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇札幌市「平成30年度市民向け札幌・エネルギーecoプロジェクト補助金制度」

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/ecopro/gaiyou/gaiyou4.html>

◆札幌市「平成30年度中小企業者等向け札幌・エネルギーecoプロジェクト補助金制度」

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/ecopro/kigyuu/kigyuu.html>

◆札幌市「平成30年度マンション管理組合向け札幌・エネルギーecoプロジェクト補助金制度」

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/ecopro/ms-led/index.html>

【宮城県】

◆加美町「平成30年度加美町再生可能エネルギー活用推進事業補助金」

<http://www.town.kami.miyagi.jp/index.cfm/6,11057,22,257.html>

※薪ストーブ、薪ボイラ等が対象

【山形県】

◆山形県「再生可能エネルギー等設備導入事業費補助金」

https://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050016/saiseikanou_hojo_h30.html

【福島県】

◇桑折町「平成30年度桑折町再生可能エネルギーシステム設備等設置補助制度」

https://www.town.koori.fukushima.jp/kurashi/life/gomi_kankyo_p/et_eisei/3/4128.html

◇大玉村「大玉村住宅用再生可能エネルギー設備設置費補助」

https://www.vill.otama.fukushima.jp/gyousei_jouhou/kakusyushienjigyou/seikatukankyou/

◇石川町「平成30年度石川町『未来へつなぐ省エネ住宅』普及促進補助金」

<http://www.town.ishikawa.fukushima.jp/info/005457.html>

◇広野町「広野町住宅等用新エネルギーシステム設置費補助事業」

http://www.town.hirono.fukushima.jp/kikaku/jutaku_taiyoko.html

◇葛尾村「住宅用再生可能エネルギー設備設置の補助制度」

<http://www.katsurao.org/soshiki/21/30saiseikanou.html>

【長野県】

◆塩尻市「平成30年度塩尻市木質バイオマス利用設備設置費等補助金」

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/kurashi/kankyo/mokushitsubiomass/mokusitubaiomasu.html>

【滋賀県】

◆滋賀県「木質バイオマス利活用促進事業」

http://www.pref.shiga.lg.jp/d/rimmu/baiomasu_bosyu/baiomasu_bosyu.html

【京都府】

◇京丹後市「平成 30 年度京丹後市自立循環型資源利活用促進
支援補助金（第 1 次）」

<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/kurashi/kankyo/4/1/4532.html>

◆京都市「平成 30 年度木質ペレットボイラー・ストーブ導入
助成金」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000235670.html>

【兵庫県】

◇神戸市「平成 30 年度神戸市薪ストーブ設置補助金」

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/environment/kan-kyomoderutoshi/woodstove.html>

※対象は薪ストーブのみ

◇篠山市「平成 30 年度【家庭用、自治会等用】新エネルギー・
省エネルギー普及促進補助金」

<https://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/kankyo/environment/shinene-katei.html>

【鳥取県】

◇若桜町「若桜町の豊かな森林資源を活かす!!木質燃料の燃焼
機器助成」

http://www.town.wakasa.tottori.jp/?page_id=20

【広島県】

◆広島県「平成 30 年度広島県省エネ設備導入促進補助金」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/30setubihojokin.html>

6. 公募等情報（締切順）

◇NEDO「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業
／バイオマスエネルギー導入に係る技術指針・導入要件の策定
に関する検討、事業性評価（FS）、実証事業及び技術開発事業」
に係る公募について

公募期間 2018 年 4 月 27 日（金）～5 月 28 日（月）

http://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100223.html

◇（一社）環境共創イニシアチブ「平成 30 年度 地域の特性を
活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金（再生可能エ
ネルギー熱事業者支援事業）」

公募期間 2018 年 4 月 27 日（金）～5 月 31 日（木）

http://sii.or.jp/re_energy30/note.html

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1804/180419a/

◇オーストリア大使館商務部「クラーゲンフルター・ホルツメ
ッセ木材展示会 2018（8/28～9/1）」での日本からの出展企業
を募集

出展募集締切 2018 年 5 月 31 日（木）

<http://www.forestrise.jp/KLAGENFURT/>

◇京都府「京の森林文化を守り育てる支援事業 平成 30 年度
助成団体募集」

募集期間 2018 年 4 月 3 日（火）～5 月 31 日（木）

<http://www.pref.kyoto.jp/rinmu/moribunka.html>

◇滋賀県「平成 30 年度滋賀県地域主導型再生可能エネルギー
検討支援事業補助金」

募集期間 2018 年 4 月 24 日（火）～5 月 31 日（木）

<http://www.pref.shiga.lg.jp/f/hodo/e-shinbun/20180424.html>

◇埼玉県「【中小規模事業所向け】平成 30 年度埼玉県事業者向
け CO2 排出削減設備導入補助金」

申請期間 2018 年 5 月 1 日（火）～5 月 31 日（木）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/co2sakugenshien2018.html>

◇宮城県「平成 30 年度宮城県新エネルギー等環境関連設備開
発支援事業費補助金」

募集期間 2018 年 3 月 19 日（月）～5 月 31 日（木）

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/h30-setsubikaihatsu.html>

◇（一社）低炭素エネルギー技術事業組合「平成 30 年度二酸
化炭素排出抑制対策事業費等補助金（CO2 削減ポテンシャル診
断推進事業）低炭素機器導入事業」

第 1 次公募 2018 年 5 月 1 日（火）～5 月 31 日（木）

第 2 次公募 2018 年 8 月 1 日（水）～8 月 31 日（金）

<http://lcep.jp/h30/setsubi/koubo.html>

◇埼玉県「【中小規模事業所向け】平成30年度埼玉県事業者向けCO2排出削減設備導入補助金

交付申請 2018年5月1日(火)～5月31日(木)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/co2sakugenshien2018.html>

◇滋賀県「平成30年度滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金」

募集期間 2018年5月7日(月)～9月28日(金)

1次締切:5月31日(木)、2次締切:6月29日(金)、

3次締切:7月31日(火)、4次締切:8月31日(金)、

最終締切:9月28日(金)

<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/ai00/20180507.html>

◇オーストリア大使館商務部「オーストリア・シュタイアーマルク州、ピヒル森林研究所

『日本人向けバイオマス技術特別講座』の募集を開始します
申込締切 2018年6月1日(金)

http://www.advantageaustria.org/jp/oesterreich-in-japan/news/local/20180702_Pichl.ja.html

◇(一社)低炭素投資促進機構「平成30年度地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金(分散型エネルギーシステム構築支援事業のうち構想普及支援事業)」

募集期間 2018年4月9日(月)～7月3日(火)

I. 事業化可能性調査 :6月5日(火)

II. マスタープラン策定 :7月3日(火)

http://www.teitanso.or.jp/concept_spreading_support_projectH30

◇環境省「平成30年度低炭素型廃棄物処理支援事業補助金(事業計画策定支援事業、廃棄物高効率熱回収事業、廃棄物燃料製造事業及び廃棄物バイオガス熱回収事業)の公募について」

公募期間 2018年5月8日(火)～6月7日(木)

<http://www.env.go.jp/press/105480.html>

◇(一社)環境技術普及促進協会「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

(公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業)公募のお知

らせ」

公募期間 2018年5月14日(月)～6月7日(木)

http://www.eta.or.jp/offering/18_8_co2/180514.php

◇(公財)北海道科学技術総合振興センター「札幌型環境・エネルギー技術開発支援事業」

応募締切 2018年6月8日(金)

https://www.noastec.jp/web/search/02/details/post_13.html

◇トヨタ自動車(株)「2018年度トヨタ環境活動助成プログラム」

募集期間 2018年4月6日(金)～6月8日(金)

<http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge6/ecogrant/>

◇国交省「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ」の派遣を開始(取組実績のある地方公共団体や関係省庁等からの助言や意見交換を希望する地方公共団体を募集します)

募集期間 2018年5月10日(木)～6月11日(月)

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000373.html

◇福島県「福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金(再生可能エネルギー導入支援事業)(発電設備等)」

公募期間 2018年5月14日(月)～6月13日(水)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/kyoyo-souden-setsubi-h30.html>

◇(公財)北海道環境財団「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(L2-Tech 導入実証事業)に係る対象事業者の公募について」

公募期間 2018年5月14日(月)～6月15日(金)

<http://www.env.go.jp/press/105487.html>

◇(公財)北海道環境財団「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(L2-Tech 導入実証事業)に係る対象事業者の公募について」

公募期間 2018年5月14日(月)～6月15日(金)

<http://www.heco-hojo.jp/>

◇新潟県「平成 30 年度新潟県再生可能エネルギー発電設備導入促進事業補助金」

公募期間 2018 年 4 月 19 日（木）～6 月 18 日（月）

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoshinko/1356891145118.html>

◇平成 30 年度「公益信託 農林中金森林再生基金（農中森力（もりぢから）基金）」助成事業の募集について

募集期間 2018 年 5 月 1 日（火）～6 月 29 日（金）

https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2018/30-8.html

◇（一社）低炭素エネルギー技術事業組合「平成 30 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（CO2 削減ポテンシャル診断推進事業）CO2 削減ポテンシャル診断事業」

公募期間 2018 年 5 月 1 日（火）～6 月 29 日（金）

<http://lcep.jp/h30/potential/koubo.html>

◇（一社）環境共創イニシアチブ「平成 30 年度 エネルギー使用合理化等事業者支援事業」

公募期間 2018 年 5 月 28 日（月）～7 月 3 日（火）

<http://sii.or.jp/cutback30/overview.html>

◇長野県「平成 30 年度自然エネルギー地域発電推進事業」

募集期間

第二次募集：2018 年 6 月 25 日（月）～7 月 25 日（水）

第三次募集：2018 年 9 月 10 日（月）～10 月 10 日（水）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/happyou/180416press.html>

◇福岡県福岡市「エコ発する事業補助金 ～皆さんの環境活動を支援します～」

申請期間 2018 年 4 月 2 日（月）～7 月 31 日（火）

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-seisaku/hp/kyouiku-shien/ecohatu.html>

◇北海道「平成 30 年度林業機械レンタル集荷モデル実証事業費補助金」

募集期間 2018 年 4 月 2 日（月）～7 月 31 日（火）

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/chizai/rental.htm>

◇長野県「平成 30 年度地域主導型自然エネルギー創出支援事

業」

募集期間

第二次募集：2018 年 6 月 27 日（水）～8 月 6 日（月）

第三次募集：2018 年 9 月 5 日（水）～10 月 10 日（水）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/happyou/180416press2.html>

◇奈良県「再生可能エネルギー活用調査支援事業」

募集期間 2018 年 4 月 20 日（金）～10 月 31 日（水）

※先着順につき、早期に受付を終了することがあります。

<http://www.pref.nara.jp/43635.htm>

◇宮城県仙台市「民間防災拠点施設への再生可能エネルギー等導入補助」

募集期間 2018 年 4 月 2 日（月）～11 月 30 日（金）

<http://www.city.sendai.jp/kankyo/jigyosha/kankyo/hozen/kobo.html>

◇あわら市観光協会「もりもりバイオマス視察研修」参加者募集中

募集期間 2019 年 2 月中旬まで全 7 回（下記サイト参照）

<http://awara.info/3542>

◇兵庫県宍粟市「平成 30 年度：木質バイオマス燃料製造設備補助金」

受付期間 2018 年 4 月 2 日（月）～2019 年 3 月 14 日（木）

<http://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyorisaiikuru/1515747829708.html>

◇長野県 平成 30 年度「1 村 1 自然エネルギープロジェクト」の登録を募集

募集期間 2018 年 4 月 27 日（金）～2019 年 3 月 15 日（金）

(1) 一次募集：2018 年 4 月 27 日（金）～7 月 31 日（火）

(2) 二次募集：2018 年 8 月 1 日（水）～11 月 30 日（金）

(3) 三次募集：2018 年 12 月 3 日（月）～2019 年 3 月 15 日（金）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/happyou/180427press.html>

◇東京都「地産地消型再生可能エネルギー導入拡大事業」

申請期間 2018 年 5 月 7 日（月）～3 月 29 日（金）

<https://www.tokyo-co2down.jp/page.jsp?id=9304>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

計画認定申請期間 2015年10月1日(木)～

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

◇新潟県柏崎市「柏崎市ECO2プロジェクト」

<http://www.city.kashiwazaki.lg.jp/ondan/machi/kankyo/eco2/ondanka.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度までの10年間

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇資源エネルギー庁「グリーン投資減税」

http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/green_tax/greensite/green/index.html

◇千葉県「環境保全資金(制度全般事業認定)」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

◇千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

◇千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>